

中学校社会科採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答	〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1	エ		4	
	2	イ		4	
	3	記号	A	記号と理由がともに合っているものだけを正答とする。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8
		理由	Aは、駅の構内をはじめ市街地内に広く分布して立地しているため、百貨店やショッピングセンターよりも、店舗面積が小さく店舗数の多いコンビニエンスストアと判断できる。		
	4	太平洋熱帯域を西向きに吹く貿易風が平常時よりも強くなり、インドネシア付近に暖かい海水をより厚く蓄積することで、積乱雲が発生しやすいため。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8
	5	エ		4	
	6	源頼朝以来の先例や、「どうり」と呼ばれた武士社会での慣習・道徳に基づいた基準を法令として定めることで、御家人同士や御家人と荘園領主との間の紛争を公平に裁く基準を明らかにするため。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8
	7	ア		4	
	8	ウ→ア→イ→エ		4	
	9	イ		4	
	10	国際司法裁判所		ICJ もよい。	4
	11	エ		4	
12	エ		4		
2	1	〔0度の等値線をかき入れるに当たっての条件〕 ・氷点下の気温の気象観測地点と0度より大きい気温の気象観測地点を結ぶ間を通過していること。 ・0.0度の気温の気象観測地点上を通過していること。 ・上記の条件でかき入れることができる線を新潟県内全域においてかき示すこと。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	7
	2	イ		7	
	3	海から離れて内陸部に避難しようとしていることは評価しつつも、たとえ内陸部でも津波は河川を遡上して、被害をもたらす可能性があるため、避難中に河川を横切ったり、河川に近づいたりすることは危険であることを確認させ、津波発生の可能性があるときには、 A のように海や河川に近づかずに、標高の高いところへ避難するような指導をする。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10
	4	地図	著作権保護の観点により、掲載いたしません。	地図と理由がともに合っているものだけを正答とする。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	6
理由	X国内では、首都と南東端に位置する都市が、いずれも空港をもつ交通の拠点と考えられる。そこで、この島国の両端に位置する二つの都市の間を、標高の高い山岳部を避けながら、1,000km以内で、できるだけ多数の都市や港湾を結び付けるように高速道路を建設することによって、国内の道路交通網を整備し、陸海空の社会資本を結び付けることで経済活動の振興を図ることができると考えられるため。				

中学校社会科採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正答【例】	採点上の注意	配点
3	1 この城下町では諸役等が免除されることや、徳政令が出されても債権が破棄されないということ。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	6
	(1) 経済活動が活発になり、東日本で主に取引に用いられていた金貨と、西日本で主に取引に用いられていた銀貨を両替する必要性が増大したため。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	8
	(2) 武士が知行地に住んでいた中世には米を売らずに生活できたが、近世に入って武士が城下町に集住するようになった上に貨幣経済が進展したことによって、武士は米を売って商人から物を買う生活を送らなければならなくなり、商人との力関係が相対的に低下したため。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	10
	3 ウ		6
4	1 貿易障壁の削減・撤廃に加え、知的所有権や労働力の移動など、より広い分野での経済協力を目的とする協定。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	5
	2 80億円増加する。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	5
	(1) アメリカの貿易収支を改善するためにドル高を是正すること。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	10
	3 記号 C 理由 Aは、プラザ合意後から減少し、バブル崩壊後とアジア通貨危機後は増大している。Bは、各できごとにおいてAやCほどの変化は見られない。Cは、プラザ合意後はマイナスからプラスに転じ、バブル崩壊後とアジア通貨危機後はプラスからマイナスに転じている。証券投資は、プラザ合意による円高の影響や、バブル崩壊やアジア通貨危機による景気変動の影響を受けやすい。よって、Cが証券投資の推移を示すと判断できる。	記号と理由がとも合っているものだけを正答とする。 内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	10
5	1 記号 ③ 理由 公債発行額と一般会計歳出に占める国債費の割合の違いを理解させた上で、公債発行額が最も高い年度と一般会計歳出に占める国債費の割合が最も高い年度は、必ずしも一致しないことを、生徒に気付かせる必要があるため、資料中の年度ごとの値をていねいに読みとらせるような指導を行う。	記号と理由がともに合っているものだけを正答とする。 内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	各10 × 2
	1 記号 ④ 理由 平成21年度の一般会計歳出に占める国土保全及び開発費の割合は、前年度と比較してほぼ変動がないが、一般会計歳出が、前年度と比べて増加しており、国土保全及び開発費の総額は増加していることを、生徒に気付かせる必要があるため、絶対値と相対値で示されたデータの関係性について、正しく理解させるような指導を行う。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。 順序は問わない。	
	2 少子高齢社会における社会保障とその財源の確保の問題をどのように解決していったらよいか、税の負担者として自分の将来と関わらせて考えさせるなどして、考えたことをまとめさせたり、説明させたりする活動を取り入れるなどの工夫が大切である。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	10
	1 既得の知識と関連付けたり組み合わせたりしていくことにより、学習内容の深い理解と、個別の知識の定着を図るとともに、社会における様々な場面で活用できる、概念などに関する知識として獲得していくこと。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	10
6	2 地域の特性に応じた時代を取り上げるようにするとともに、人々の生活や生活に根ざした伝統や文化に着目した取扱いを工夫すること。その際、博物館、郷土資料館などの地域の施設の活用や地域の人々の協力を考慮すること。	内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。	10
			20